

福島第一原子力発電所 土壤中のSr分析結果

1.測定結果：

(データ集約:7/14)  
(単位：Bq/kg・乾土)

採取場所 ( )は1,2号機スタックからの距離	採取日	Sr-89	Sr-90
グラウンド(西北西約500m) <sup>1</sup>	2015年3月12日	N.D. [1.1×10 <sup>1</sup> ]	(4.4±0.10) × 10 <sup>1</sup>
野鳥の森(西約500m) <sup>1</sup>		N.D. [1.1×10 <sup>1</sup> ]	(1.9±0.026) × 10 <sup>2</sup>
産廃処分場近傍(南南西約500m) <sup>1</sup>		N.D. [1.1×10 <sup>1</sup> ]	(2.3±0.026) × 10 <sup>2</sup>
過去の測定値の範囲(平成11年度～平成20年度) <sup>2</sup>		-	ND～4.3

[ ]内は検出限界値を示す

- 1：過去のサンプリングが重ならないよう隣接地を採取。  
2：出典「平成21年度 原子力発電所周辺環境放射能測定結果報告書」  
(福島県原子力発電所 安全確保技術連絡会)

2.分析機関：株式会社 化研

3.評価：

検出されたSr-90の濃度は、過去の大気圏内核実験において国内で観測されたフォールアウトと比べ高い値となっていることから、今回の事故に由来することが考えられる。

以 上

福島第一原子力発電所 土壤中のPu分析結果

1.測定結果：

(データ集約:7/14)  
(単位：Bq/kg・乾土)

採取場所 ( )は1,2号機スタックからの距離	採取日	Pu-238	Pu-239+240
グラウンド(西北西約500m) <sup>1</sup>	2015年3月12日	N.D. [ $1.5 \times 10^{-2}$ ]	N.D. [ $1.3 \times 10^{-2}$ ]
野鳥の森(西約500m) <sup>1</sup>		$(3.2 \pm 0.76) \times 10^{-2}$	$(2.0 \pm 0.21) \times 10^{-1}$
産廃処分場近傍(南南西約500m) <sup>1</sup>		$(3.2 \pm 0.73) \times 10^{-2}$	$(4.4 \pm 0.83) \times 10^{-2}$
国内の土壤(昭和53年～平成20年) <sup>2</sup>		N.D. $\sim 1.5 \times 10^{-1}$	N.D. $\sim 4.5$

[ ]内は検出限界値を示す

- 1：過去のサンプリングが重ならないよう隣接地を採取。  
2：出典「環境放射線データベース」(文部科学省)

2.分析機関：株式会社 化研

3.評価：

2015年3月12日に検出されたPu-238とPu-239+240の濃度は、過去の大気圏内核実験において国内で観測されたフォールアウトと同様なレベルである。しかし、これまでの結果から、今回の事故に由来する可能性が考えられる。

以上